

**病気に強い！**

# あらかさ53号のご紹介

---



**朝日アグリア株式会社**

# こんな悩みはありませんか？

## ■ 10月～11月の病気に困っている

台風が多い影響もあり、黒すす病、黒斑細菌病、黒腐れ病など、どうしても病気が出てしまう。

## ■ もっと作業性を良くしたい

畑が何か所もあるので、出来るだけ一気に収穫したい。丈が短いと切るのが大変。収穫しやすい品種が欲しい。草姿が大きいと畑に入りづらい。

**あらくさ53号** がお奨めです！



# 特長① 病気や障害に強い



※形状は  
偏平です

Point

蕾が細かく締まりが良いため、  
花が開かず病気が侵入しにくい

あらくさ



対照品種



Point

毛細根が多いため、高温障害  
や湿害を受けにくい

あらくさ



対照品種

Point

葉に病気が付きづらく、  
付いたとしても浸潤しにくい

## 特長② 収穫作業性が抜群



**Point** 揃いが良いため、収穫回数が少なくて済む



**Point**

草姿がコンパクト  
花蕾位置が高く切りやすい  
花蕾が上から見える  
= 収穫適期が分かりやすい



# 作型表 (定植後65~70日タイプの早生)

地域	6			7			8			9			10			11			12			1		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
冷涼地			●			▲									■									
一般地						●			▲						■						■			
暖地									●			▲						■						■

● 播種 ▲ 定植 ■ 収穫

## ※早まき・遅まきは避けましょう

早まきすると花蕾色が淡く、コロコロした形状になりやすいのでご注意ください。

遅まきするとアントシアンが発生します。

# 栽培のポイント①

## ■ 育苗中の軟弱徒長に注意

育苗中は軟弱傾向に育ちます。  
灌水量を抑制し、遮光資材を上手に使って、ハウス内の温度調整に留意してください。



### Point 生理障害（葉の黄変）

灌水過多と換気不十分な時に発生することがあります。特に播種後10日～15日の間は要注意。



(左) 締まった良い苗  
(右) 軟弱徒長苗

# 栽培のポイント②

## ■ 空洞症に注意

急激な窒素吸収で空洞が発生するため、有機入り肥料でじっくり育てるのがお勧めです。

## ■ 草勢の判断に注意

初期は草丈が伸びません。「生育が悪い」と必要以上に追肥をされる方がおりますが、元々コンパクトな草姿なので心配いりません。

### Point

コンパクトな分、  
風の影響は受けにくい

(写真は定植一か月後)





# 各地の事例①

あらくさ53号 (長野)  
定植：7月26日  
撮影：9月25日





# 各地の事例②

あらくさ53号 (埼玉)

定植：8月18日

撮影：10月10日



対照品種



あらくさ53号



撮影：11月21日



# 各地の事例③

あらくさ53号 (栃木)  
定植：8月20日  
撮影：10月29日

あらくさ  
53号



対照品種



# 各地の事例④

あらくさ53号 (九州)

定植：9月6日

撮影：11月28日





# 期待の新技術「密植栽培」

あらくさ53号の**病気の強さ**と**コンパクトな草姿**を活かし、  
2019年神川農場にて、密植栽培にチャレンジしました。

(kg/10a)

畝間：70cm  
株間：20cm（通常マイナス10cm）  
**7142株／10a換算**

施肥設計	N	P	K
元肥	18	14.4	14.4
追肥	4	3.2	3.2
合計	22	17.6	17.6



（播種：8月5日 定植：9月2日 撮影：12月10日）

- 肥大性は通常栽培と遜色なく、**有用性**を確認できた。
- 通常栽培よりも収穫の揃いにバラつきがあった。



実用性を考慮すると、株間は**マイナス5cm程度**が妥当。  
今年度は実用化に向けて、施肥体系の確立を目指します。